

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	エコルド盛岡神子田教室			
○保護者評価実施期間	2026年2月9日		～	2026年2月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数)	23名
○従業者評価実施期間	2026年2月16日		～	2026年2月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月19日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【将来を見据えた自立に向けた経験】として、通常の施設内での療育活動の他に、課外活動・クッキング・畑作の活動を提供しています。	<p>【課外活動】 公共の施設を利用し、社会のルールを学ぶ機会としています。</p> <p>【クッキング】 様々な調理工程を経験する中で、楽しみながら技能習得を目指しています。</p> <p>【畑作】 食に対する関心を高め、自立心・社会性を育てています。</p>	<p>全ての活動において積極的にプログラムに取り入れながら社会性を育てていきます。課外活動では、利用施設開催の教室への参加にも挑戦しております。今後も事業所外の人との交流を通して、社会性を伸ばし、他者との関係の築き方を習得する事を目指していきます。</p>
2	療育プログラム【トレキング】【すてむぼっくす】を導入しています。	<p>【トレキング】(毎日実施) プロジェクションマッピングを使用して、ゲームのような楽しさから、バランス・体幹・運動機能の向上を目指しています。</p> <p>【すてむぼっくす】(月2～3回実施) ブロックやタブレットを使用して、ものづくりを楽しむ中で思考力・発想力・問題解決能力を養い、子ども達の可能性を広げています。</p>	<p>導入プログラムは子ども達の特性に合わせて難易度を設定して実施しています。今後は子ども達自身が取り組みの成果を実感できるようなサポートアイテム(記録表などの視覚化したもの)を使用し、さらなる機能向上に加えて、自己肯定感の向上を目指していきます。</p>
3	保護者と事業所をつなげる【Ecold LINK】を利用しています。	<p>連絡帳や実績記録はアプリ内で確認できます。連絡帳は写真の貼り付けが可能であり、事業所での取り組みの様子がより分かりやすく配信できるようになっています。</p>	<p>毎回の取り組みの内容を丁寧に記載し、事業所内での様子をお伝えします。その際、子どもの特性を踏まえた上での関わりのポイント・支援方法を具体的に記載し、保護者支援に努めていきます。</p>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別訓練の実施ができていない。	<p>以前、系列事業所にて個別訓練を受けていた児童・保護者からは、より個々のニーズに合わせた訓練の希望がありますが、現状では職員体制上、個別訓練の実施は難しいです。</p>	<p>個々の課題に関連付ける幅広いプログラムを計画していきます。</p> <p>【制作・もの作り】 道具操作の中で手指運動をたくさん行い、ADL動作の自立につなげます。</p> <p>【トレキング・運動プログラム】 身体活動の中で体幹筋を鍛え、姿勢の安定や維持力の向上につなげます。</p> <p>【集団レクリエーション】 仲間との活動でコミュニケーション能力や協調性を養い、また気持ちのコントロール力が身に付くように支援をします。</p>
2	地域に開かれた事業所運営として、地域交流の機会がありません。	<p>同地域にある系列事業所(児童発達支援)との合同交流会を1度開催しました。その他では、今年度開業1年目という事で、年間の活動計画に沿って事業所を運営し、地域交流まで視野を広げて取り組む事ができませんでした。</p>	<p>同地域にある各施設(児童発達支援、児童センター、デイサービス等)との交流を検討していきます。子ども達が日々の活動の中で培ったスキルを発揮する場としても、積極的に取り入れていきます。</p>
3			